

## 令和 2 年度 第 3 回 広島県教科用図書選定審議会 議事録

1 開催日時 令和 2 年 8 月 3 日 (月) 13 : 00 ~ 16 : 45

2 開催場所 県庁自治会館 1 階 101 会議室

3 出席者 17 名

4 欠席者 2 名

### 5 内 容

事務局	<p>(本会議の進行及び資料について説明)</p> <p>この選定審議会の傍聴及び議事録の公開については、第 1 回選定審議会の際に、第 3 回は非公開とし議事録のみ公開することを確認済みである。</p>
会 長	<p>それでは議事に入る。</p> <p>まず、令和 3 年度に県立中学校で使用する教科用図書の選定状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (義務教育指導課担当者)	<p>まず、配付資料について説明する。</p> <p>資料 1、令和 3 年度に県立中学校で使用する中学校用教科用図書の選定については、県立の三つの中学校の教科用図書の選定に係る考え方を示したものである。上段には、県立の三つの中学校の教育目標や、育てたい生徒像等を示している。中段に示しているのは、県教育委員会が作成した選定資料における観点 1 から観点 5 までの五つの共通する観点、それに加えて県立中学校では、「観点 6」として「学校の特色を生かす工夫」を設け、学校の教育目標等に基づいて、各学校が独自に調査研究のための視点を設定している。調査にあたっては、三校合同調査委員会を設け、三校合同で調査研究を行った。また、教科書の選定については、三校とも校内に選定会議を設置し、各教科で行った調査研究の結果を踏まえ、総合的に判断している。</p> <p>資料 2 は、三校の選定結果の一覧である。三校の選定結果が異なる種目は、国語、理科、保健体育の三種目で、他の種目では三校とも同じ発行者の教科用図書となった。</p> <p>資料 3 は教科用図書の選定理由となっており、選定した教科用図書について、その特徴と選定に至った理由をまとめている。</p> <p>資料 4 は調査項目設定の理由で、各調査項目は、学習指導要領や各校の教育目標等に基づいて設定しており、なぜそのような調査を行う必要があったのか、調査項目設定の理由をまとめている。</p> <p>資料 5 は種目別の評価表で、観点や視点ごとに学習指導要領に基づいた評価基準を設定し、調査研究した結果を A B C の 3 段階で示している。最後に、発行者別に A、B、C の集計結果を記載し、A 評価が一番多かった発行者を選定している。なお、A 評価が同数の場合は、「学校の特色を生かす工夫」の「観点 6」の評価が高い方を選定している。</p> <p>本日は資料 5 を基に、国語から順に各学校の選定状況について説明する。なお、説明に当たっては、共通観点である観点 1 から 5 の中から一つ、各校の独自の観点である観点 6 の中から一つ視点をとり上げ、調査で明らかになっ</p>

各教科 担当者	<p>た選定した教科用図書の特徴についてスクリーンを使いながら示す。説明は4種目ずつに分けて行う。</p> <p>「国語」について説明する。  国語は、広島中学校，三次中学校では「光村」，広島叡智学園中学校では「三省堂」を選定している。</p> <p>三校共通である観点1～5においては，視点③を御覧いただきたい。学習指導要領国語において，「様々な媒体の中から必要な情報を取り出したり，情報同士の関係を分かりやすく整理したり，発信したい情報を様々な手段で表現したりすること」が求められており，「光村」と「三省堂」は，目次に情報の扱い方に関する「大単元」が記載されていることで，生徒が見通しをもって学習活動に取り組むことができる。その他の観点1～5についても，「光村」「三省堂」が，全般的に見て優れているという結果になった。次に，学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では，視点⑬を御覧いただきたい。広島中学校では，高い目的意識をもち，自主的に課題に取り組む学習を重視するという理由から，主体的・発展的な学びを促す教材について調査しており，「光村」は，国語の学びを社会生活や未来につなぐことに関する工夫がある。観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果，「光村」が全般的に優れていると判断し，選定した。広島叡智学園中学校では，視点⑭を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では，社会の持続的な平和と発展に向け，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するために，異なる文化や価値観に触れることのできる「国際的な内容を取り上げた読み物教材」について調査した。「三省堂」は，異なる文化・価値観を知り，そこから広い視野での協働を考えることができる工夫がある。観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果，「三省堂」が全般的に優れていると判断し，選定した。三次中学校では，視点⑩を御覧いただきたい。三次中学校では，知性，探究心，創造性，逞しさを育むために，週1時間「プレゼンテーションの時間」を設定し，情報機器を用いて自分の意見や考えを伝える学習に取り組んでいることから，情報機器を用いる単元について調査した。「光村」は，相手意識，目的意識をはっきりとさせた「提案」を扱う単元となっており，観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果，「光村」が全般的に優れていると判断し，選定した。</p> <p>「書写」について説明する。  書写は，三校とも「東書」を選定している。</p> <p>三校共通である観点1～5においては，視点⑥を御覧いただきたい。学習指導要領においては，「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して，身近な文字を行書で書くこと。」と示されているため，「筆使いの示し方，紙面構成等」が生徒に分かりやすいものになっているかを調査した。「東書」は，色分けをして筆使いを示すだけでなく，第1学年で初めて行書を学ぶ際に活用する点画の連続等について色分けして示す工夫があり，その他の観点1～5についても，「東書」が，全般的に見て優れているという結果になった。次に，学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では，視点⑩を御覧いただきたい。広島中学校では，高い目的意識をもち，自主的に課題に取り組む学習を重視するという理由から，主体的・発展的な学びを促す教材について調査した。「東書」は，自分自身で調べたり，考えたりしたことを振り返るための自己評価の視点が掲載されており，観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果，「東書」が全般的に優れていると判断し，選定した。広島叡智学園中学校では，視点⑨を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では，社会の持続的な平和と発展に向け，異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成するために，他国の文字文化の取扱いについて調</p>
------------	--

査した。「東書」は、古典や文字の成り立ちと移り変わりなどについて説明するとともに、実際の書を掲載しており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。三次中学校では、伝統を重んじ、人類の発展に貢献しようとする高い志を持たせるために、豊かな文字文化の取扱いについて調査した。「東書」は、日本の文字の変遷や、手書きの文字の特徴を学ぶ教材だけでなく、手書きの良さを示す教材も掲載されており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。

「社会（地理的分野）」について説明する。

社会（地理的分野）は、三校とも「日文」を選定している。

三校共通である観点1～5においては、視点④を御覧いただきたい。社会科では、単元など内容や時間のまとまりを見通した学習が求められており、生徒にどのように興味・関心をもたせるかが重要となる。そこで、単元導入部でどのように興味・関心を引き出そうとしているかを調査した。「日文」は、全ての単元において、導入に生徒の興味・関心を喚起することをねらった特設ページを設ける工夫があり、その他の観点1～5についても、「日文」が、全般的に見て優れているという結果になった。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では、視点⑬を御覧いただきたい。広島中学校では、主体的に課題解決に取り組む学習を充実させたいという理由から、主体的な学習の支援となるQRコードの内容が充実しているかどうかについて調査した。「日文」は、全ての単元について、QRコードからアクセスできる資料が用意されており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「日文」が全般的に優れていると判断し、選定した。広島叡智学園中学校では、視点⑫を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、主体的に情報を収集、分析し、自分の考えを表現する中で、生活・文化の多様性を学ぶような学習を充実させたいと考え、資料分析についての記載について調査した。「日文」は、「写真から地域の特色を読み取る方法」という特設ページを設け、生活・文化の多様性を資料から読み取る際の学び方、具体例、演習問題を掲載しており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「日文」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。三次中学校では、多くの資料から必要な情報を精査し、主体的に自分の考えを構築する学習を充実させたいと考えており、主体的な学びを促す構成の工夫について調査した。「日文」は、巻末に用語の解説が掲載されているとともに、世界と日本の統計資料において「自然環境」、「人口」、「資源、エネルギーと産業」、「交通・通信」の資料が全て掲載されており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「日文」が全般的に優れていると判断し、選定した。

「社会（歴史的分野）」について説明する。

社会（歴史的分野）は、三校とも「東書」を選定している。

三校共通である観点1～5においては、視点⑩を御覧いただきたい。学習指導要領において、社会科では「深い学び」の視点で、協働的な言語活動の重要性が示されており、歴史的分野においては、学んだことを多面的・多角的に考察し、協働を促す言語活動を設定しやすい単元のまとめでの活動が大切になる。そこで、単元末で設定している言語活動について調査した。「東書」は、全ての単元末で「みんなでチャレンジ」というコーナーを設け、意見交換や思考ツールで協働的に作業する活動を設定している。最後に、それぞれの時代の特色について政治の面、文化の面など視点を変えて考察する活動を用意しており、その他の観点1～5についても、「東書」が全般的に見て優れているという結果になった。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説

	<p>明する。広島中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島中学校では、生徒が1時間ごとに課題解決をする機会を設けることで、思考力、判断力を育成したいという理由から、1時間ごとの内容に対して、どのような課題が設定されているかについて調査した。「東書」は、「チェック」という基礎的な知識を問う課題と、「トライ」という学習内容を解釈し、文章として再構成する課題の2題を提示している。それぞれの問いは関連しているものが多く、2段階で学びを深める構成となっており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。広島叡智学園中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、様々なまとめや発表の方法を考えさせることで、創造的な思考を促していきたいと考え、考える際の支援となるような教科書の記載となっているかどうかについて調査した。「東書」は、具体的なまとめ方の留意点に加え、具体例が示されている。内容も、レポート、歴史新聞というように複数掲載されており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。三次中学校では、各時代を大きくテーマで捉えて考察させる学習を設けることで、生徒の知性や探究心を育成したいと考えており、そのための学習の支援となる資料について調査した。「東書」は、単元ごとに学習した日本および世界のできごとが年表でまとめられているとともに、巻末において学習した日本および世界のできごとの全体が年表でまとめられ、さらに人物や歴史的事象に係る索引が掲載されており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。</p>
<p>会 長</p>	<p>それではここで、説明があった4種目の選定状況について実際に教科書の見本を見ながら各学校の教育目標等を踏まえ、最も適した教科書が選定されているかについて、意見交流をしていただく時間を取る。その後、さらに4種目の選定資料について説明を受け、再度意見交流をし、その後、2回の意見交流で出た御意見等をまとめて、グループごとに御紹介いただく。</p> <p>(委員による教科書閲覧、意見交流後) それでは、資料5の説明の続きをお願いします。</p>
<p>各教科 担当者</p>	<p>「社会（公民的分野）」について説明する。</p> <p>社会（公民的分野）は、三校とも「東書」を選定している。</p> <p>三校共通である観点1～5においては、視点④を御覧いただきたい。先ほどの地理的分野でも申したが、学習指導要領において社会科では、単元など内容や時間のまとまりを見通した学習が求められており、単元導入部でどのように生徒の興味・関心を引き出そうとしているかについて調査した。「東書」は、単元導入部で写真等の「興味・関心を引き出す資料」、「動機づけの活動」、章の課題、小単元ごとの課題、と用意しており、多様な問いを引き出す導入が可能となる工夫があり、その他の観点1～5についても、「東書」が全般的に見て優れているという結果になった。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では、視点⑫を御覧いただきたい。広島中学校では、我が国の伝統文化や多文化共生に係る学習内容で、文化の多様性の理解を深めさせたいという理由から、教科書に掲載されている資料について調査した。「東書」は、日本の文化、世界の文化という本文ページに加え、特設ページを設けて、日本と世界の文化について学習する構成となっており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。広島叡智学園中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、「よりよい社会を目指して」</p>

において、持続可能な社会づくりについて考えさせることで、創造的な思考を促していきたいと考え、「自分の考えをまとめる際の支援となるような教科書の記載」や、「実際の社会における取組の事例について、どのように示されているか」について調査した。「東書」は、取組を示し、レポートのまとめ方を具体的に示している。また、実際に活躍している人物をコラムで紹介し、意欲付けに活用することもできるようになっており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。三次中学校では、社会科の学習のまとめである公民的分野で、三分野を関連付けた学習をすることで、知性や探究心を育成したいと考えており、そのための学習の支援となる資料について調査した。「東書」は、三分野の関連が図られた学習内容をマークで示し、関係する資料をQRコードで活用できるようになっており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。

「地図」について説明する。

地図は、三校とも「帝国」を選定している。

三校共通である観点1～5においては、視点③を御覧いただきたい。地図帳を活用して、多くの情報を得るには、地図帳に使用されている地図や資料の読み取り方が丁寧に説明されている必要がある。そこで、地図帳に記載されている情報を読み取るためのガイダンスが充実しているかについて調査した。「帝国」は、地図帳の記号等の凡例に始まり、一般図、鳥瞰図、さく引、統計、地形図について説明を記載している。説明している種類が多く、写真等の具体例を添えて解説しており、その他の観点1～5についても、「帝国」が、全般的に見て優れているという結果になった。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では、視点⑧を御覧いただきたい。広島中学校では、生徒が課題を追究し、解決する学習を充実させることで、思考力、判断力を育成したいと考えており、地図帳においてどのような課題が設定されているかについて調査した。「帝国」は、「地図活用」というコーナーで課題を提示しており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「帝国」が全般的に優れていると判断し、選定した。広島叡智学園中学校では、視点⑨を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、世界の人々の生活と環境について学ぶ中で、文化の多様性を学ぶような学習を充実させたいと考え、外国の生活・文化についての記載内容について調査した。「帝国」は、地図、写真、イラストなどをふんだんに使い、外国の生活・文化を紹介している。テーマも多岐にわたっており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「帝国」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。三次中学校では、地球的課題について考える機会を適時設けることで、人類の発展に貢献しようとする態度を育成していきたいと考えており、地球的課題についての記載内容について調査した。「帝国」は、「地球環境問題」、「資源・エネルギー問題」、「人口・食料問題」、「居住・都市問題」をテーマとした資料が掲載されており、様々な地球的課題について考える際の支援となる資料が充実しており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「帝国」が全般的に優れていると判断し、選定した。

「数学」について説明する。

数学は、三校とも「学図」を選定している。

三校共通である観点1～5においては、視点⑥を御覧いただきたい。学習指導要領では、数学的活動において「数学的な見方・考え方を働かせ、数量や図形及びそれらの関係などに着目し、観察や操作、実験などの活動を通して、一般的に成り立ちそうな事柄を予想する」という学習過程が示されてい

るため、単元の学習過程について調査した。「学図」は、問題解決の各プロセスにおいて、巻末資料として生徒が使用できる具体物を掲載し、数学的な見方・考え方を働かせて学習に取り組むことができるようになっており、その他の観点1～5についても、「学図」が、全般的に見て優れているという結果になった。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島中学校では、数学的な見方や考え方を働かせる学習活動を重視しており、論理的思考を促す問題が充実していることがその育成のために重要であるという理由から、「数学的な推論の必要性と意味及びその方法の理解」について調査した。「学図」は、証明の構想や方針等の手順の記述がある。さらに、新たな図形の性質などを見出させたり、条件を変えた場合を考えさせたりするという記述が複数あり、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「学図」が全般的に優れていると判断し、選定した。広島叡智学園中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、自分の考えを論理的に考察し表現することが重要であるという理由から、「レポート作成の扱い、記載例」について調査した。「学図」は、普段の生活の中で感じた疑問などを自ら解決し、レポートにまとめる具体例が記載してある。また、生徒のレポート例の周りに書き方の説明がわかりやすく記載してあり、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「学図」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑫を御覧いただきたい。三次中学校では、地球規模の視野で他者と協働する力を育てるために、社会貢献への意欲につながる話題や問題の記載例が示されていることが必要であるという理由から、「数学史や著名な数学者、現代の科学の発展に寄与した数学に関する話題や問題の記載例」について調査した。「学図」は、美術作品や建築物の長さの比についての「黄金比」を掲載し、日本とヨーロッパを比較する話題や、長さの比について考察をする問いの記載もあり、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「学図」が全般的に優れていると判断し、選定した。

「理科」について説明する。

理科は、広島中学校では「啓林館」、広島叡智学園中学校、三次中学校では「東書」を選定している。

三校共通である観点1～5においては、視点②を御覧いただきたい。理科では、学習指導要領の改訂に当たって、「科学的に探究する学習を充実した」とされているため、視点を「科学的に探究する力の育成を図る工夫」と設定して調査した。「啓林館」は、各単元に「探Q実験」として、探究の過程に沿った観察・実験が設定されている。また、「東書」は、「探究をレベルアップ」として特に探究に重点をおく観察・実験が示されており、その他の観点1～5についても、「東書」「啓林館」が、全般的に見て優れているという結果になった。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では、視点⑫を御覧いただきたい。広島中学校では、豊かな人間性や社会性を培うことを目指しており、自然環境の保全や環境問題について考える態度の育成に係る工夫について調査した。「啓林館」は、環境問題についての調べ学習のテーマやSDGsの説明に加え、SDGsと関連のあるコラムを設けており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「啓林館」が全般的に優れていると判断し、選定した。広島叡智学園中学校では、視点⑫を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、他教科での学習内容や既習事項を多く示し、それらを学習内容と結び付けて考えさせる場面を充実させることで、批判的な思考力を身に付けさせたいと考えて調査した。「東書」は、関連する本文にアンダーラインをした上で、「他教科で学ぶこと」や「これまでに学んだこと」を設定し、他教科での学習内容や既習事項を結びつける工夫があり、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑬を

	<p>御覧いただきたい。三次中学校では、見通しをもって学習を進め、幅広く様々な場面で活用することができる場面を充実させたいと考えて調査した。「東書」は、「活用 学びをいかして考えよう」として、これまでの学習内容を日常生活等に活用する場面を全ての単元で複数示しており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。</p>
会 長	<p>それではここで、説明があった4種目の選定状況について実際に教科書の見本を見ながら各学校の教育目標等を踏まえ、最も適した教科書が選定されているかについて、意見交流をしていただく時間を取る。その後、8種目の選定状況について、意見交流で出た御意見等をまとめて、グループごとに御紹介いただく。</p> <p>(委員による教科書閲覧、意見交流後) グループで出た御意見、御質問を順番に御紹介いただきたい。</p>
委 員	<p>県内の多くの地域から生徒が集まる学校もあるので、地域教材の学習には工夫が必要だろうとの意見が出た。また、各教科担当者からの説明の際、国語等の学年がある教科は、しっかりと学年を示して説明してほしい。</p>
委 員	<p>資料はしっかり整理されている。「見通し」という言葉が多くの教科で出ていて、重要視されていると感じたのと同時に、あまり先々のことが分かるのも探究という視点でどうなのかとも思った。疑問としては、社会等の同じ教科で分野によっては同じ発行者を選んでいないのだが、授業の際の苦労はないのかと思った。</p>
社会科 担当者	<p>全ての分野を同じ発行者に揃えると、同じレイアウトやマーク等で学習できるので、わかりやすいという良さがある。発行者を揃えないと、教科書ごとに違いがでるのだが、それは授業者の配慮で克服できると考えている。それよりも、地理なら地理の視点で調査し、より充実した者を選ぶことが、生徒にとって良いと考えている。</p>
委 員	<p>QRコード等、情報活用の力を育成できる配慮がなされた教科書が多く、授業者の力量を高めていくことが必要となってくると感じた。</p>
委 員	<p>視点等は客観的で、透明性もあり、よく考えられている。国語と理科は学校によって選定した発行者は違うが、県として大切にしたい部分を担保した上で、学校の特徴を踏まえて教科書を選んでいるのが分かる。この資料は、各市町の採択に影響を与えるのか。</p>
事務局	<p>第2回で審議していただいた「選定資料」は、各市町教育委員会で参考資料として活用していただいているが、本日の資料は、選定の途中経過の資料であり、県立中学校の採択結果に係る資料は8月末以降に公開となる。そのため、市町教育委員会が参考とすることは難しい。</p>
会 長	<p>それでは、資料5の説明の続きをお願いします。</p>
各教科 担当者	<p>「音楽（一般）」について説明する。 音楽（一般）は、三校とも「教芸」を選定している。</p>

三校共通である観点1～5においては、視点⑧を御覧いただきたい。学習指導要領では、「各学年の内容の〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の学習において共通に必要な資質・能力である。」と示されており、とりわけ、音楽を形づくっている要素の扱いが重要であることから、視点を「〔共通事項〕の指導を充実させる工夫」と設定し、音楽を形づくっている要素の示し方、及び、指導の工夫について調査した。「教芸」は、教材ごとに、音楽を形づくっている要素を示すとともに、要素を通して学んだ内容を振り返ることができる資料を掲載している。また、各学年の「指揮をしてみよう！」では、音楽を形づくっている要素の働きについて、実感を伴った理解を促しており、その他の観点1～5についても、「教芸」が、全般的に見て優れているという結果になった。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島中学校では、我が国及び諸外国の音楽文化への理解を深めさせたいという理由から、鑑賞における我が国及び諸外国の音楽文化の扱いについて調査した。「教芸」は、「受け継ごう！郷土の祭りや芸能」において、各地に伝わる祭りや芸能を、歴史や背景と関わらせて捉える記事を掲載するとともに、次ページに、「世界の諸民族の音楽」として、異なる文化や歴史をもつ4つの芸能や音楽を紹介しており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「教芸」が全般的に優れていると判断し、選定した。広島叡智学園中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、音楽科における知識・技能の深い理解を促したいという理由から、表現と鑑賞の関連を図った学習活動について調査した。「教芸」は、「歌舞伎『勸進帳』」の鑑賞のページと「長唄『勸進帳』」の歌唱のページを続けて掲載するなど、表現と鑑賞の関連を図った学習活動を行うことができるような配置になっており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「教芸」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。三次中学校では、イメージと関わらせた学習活動を通して、創造性等を育みたいという理由から、創作における音を音楽へと構成する過程の扱いについて調査した。「教芸」は、「Let's Create!」において、具体的にイメージを基に音楽を構成することができるような学習過程を示し、創造性を発揮しながら音楽を創作できるような工夫がされており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「教芸」が全般的に優れていると判断し、選定した。

「音楽（器楽）」について説明する。

音楽（器楽）は、三校とも「教芸」を選定している。

三校共通である観点1～5においては、視点⑥を御覧いただきたい。音楽（一般）と同様に、（器楽）においても、視点を「〔共通事項〕の指導を充実させる工夫」と設定し、音楽を形づくっている要素の示し方、及び、口唱歌を手がかりとして、音楽の特徴を捉えさせる指導の工夫について調査した。「教芸」は、「アンサンブルセミナー」において、音楽を形づくっている要素を例示するとともに、「アンサンブル」においては、各教材に示されている活動文の中で、注目する音楽を形づくっている要素を示している。また、「唱歌を歌ってみよう」では、歌うときのポイントを示し、歌うことを通して箏の音楽の特徴を感じ取ることを促しており、その他の観点1～5についても、「教芸」が、全般的に見て優れているという結果になった。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島中学校では、高い目的意識をもち、自ら器楽表現を向上させる態度や意欲を育成したいという理由から、器楽の学習展開の工夫について調査した。「教芸」は、「深めよう！音楽」において、表現を工夫して取り組むための課題の設定について具体的に記載したり、表現意欲を高めるために（このような）資料等を示したりしており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「教芸」が全般的に優れていると判断し、選定し



た。広島叡智学園中学校では、視点⑧を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、音楽科における知識・技能の深い理解を促したいという理由から、器楽と鑑賞の関連について調査した。「教芸」は、各楽器のはじめのページに、その楽器の奏法等を感じ取ることができるような楽曲を2～3曲ずつ掲載し、その後の表現活動につながるような工夫がされており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「教芸」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑨を御覧いただきたい。三次中学校では、他者と協働する力や、多様性を重んじる態度を育成したいという理由から、多様な合奏曲の掲載について調査した。「教芸」は、さまざまな楽器に対応し、多彩なジャンルの音楽に触れられるようにするとともに、他者ととともに一つの音楽表現をつくっていく合奏曲を多く掲載しており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「教芸」が全般的に優れていると判断し、選定した。

「美術」について説明する。

美術は、三校とも「光村」を選定している。

三校共通である観点1～5においては、視点⑧を御覧いただきたい。学習指導要領において、美術では発想や構想と創造的に表す技能に関する事項の調和を図りながら相互に関連させることや、表現と鑑賞の関連を図り指導することなどが示されており、作品等や造形活動の示し方と具体例について調査した。「光村」は、一題材全ての学習活動の流れを、活動の様子がわかる写真や生徒の各制作段階における作品とともに細かく例示することで、発想・構想する段階から完成までの学習活動の流れがわかるように工夫しており、その他の観点1～5についても、「光村」が、全般的に見て優れているという結果になった。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島中学校では、目的意識をもった論理的思考や判断力、自ら学ぼうとする姿勢や意欲を育成したいという理由から、「デザインの学習における、身近な環境の中の造形の働きを考えさせる内容及び他教科との関連の示し方」について調査した。「光村」は、デザインの学習において、身近な環境の中の造形の働きについて考えさせる内容が扱われ、高い目的意識をもち、深い思考を促す工夫があり、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「光村」が全般的に優れていると判断し、選定した。広島叡智学園中学校では、視点⑩を御覧ください。広島叡智学園中学校では、生徒に各教科で身に付けた知識を統合して、探求的に学ばせたいという理由から、「教科横断的な視点に立った題材の示し方や具体例」について調査した。「光村」は、他教科と関連のあるコラムが掲載され、教科横断的な視点に立ち、各教科で身に付けた知識を統合して探求的に学べるように工夫されており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「光村」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。三次中学校では、知性、探求心、創造性、逞しさを育むことを大切にしており、他教科との関連や系統性をもたせた深い学びを育む工夫について調査した。「光村」は、例えば、第1学年「気持ちを伝えるデザイン」と、第2・3学年の「地域の魅力を伝える」という題材のように、第1学年の学びをより深めることができる工夫があり、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「光村」が全般的に優れていると判断し、選定した。

「保健体育」について説明する。

保健体育は、広島中学校、三次中学校では「学研」、広島叡智学園中学校では「東書」を選定している。

三校共通である観点1～5においては、視点②を御覧いただきたい。学習指導要領に保健を通して培う包括的な目標として、生涯にわたって心身の健

	<p>康を保持増進することが示され、「健康・安全について科学的に理解すること」が大切とされている。そこで、視点を「健康・安全に関する科学的な理解を図るための工夫」と設定し、資料等の補足資料について調査した。「学研」では、資料等の補足資料に説明が付され、さらにポイントとなる箇所には、キャラクターの吹き出しで、説明を加えている。「東書」も同様にキャラクターで同様の説明を加えており、その他の観点1～5についても、「学研」「東書」が、全般的に見て優れているという結果になった。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島中学校では、実習、実験、課題学習を通して、科学的・論理的な思考力、的確な判断力を育成したいと考えており、生徒が実習等で意思決定を行う学習内容の取扱い数について調査した。「学研」は、実習等の取扱い数が一番多くなっており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「学研」が全般的に優れていると判断し、選定した。広島叡智学園中学校では、視点⑪を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、異なる文化・価値観を尊重しながら協働する力を育成したいと考えており、国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容及び課題解決を促すような資料の種類と内容の掲載について調査した。「東書」は、国際的なスポーツやスポーツにかかわる様々な立場についての内容が掲載され、スポーツの文化的意義を多面的・多角的に考察させる資料を豊富に掲載しており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑬を御覧いただきたい。三次中学校では、運動やスポーツに関する歴史や健康に関するデータの変遷についての理解をもとに課題を解決し、主体的に学習に取り組む態度を養いたいと考えており、我が国の運動やスポーツの歴史や健康に関するデータの掲載について調査した。「学研」は、章末の「探究しようよ！」で、より深い学びに結び付けられるように、詳しい資料や探究的な学習活動例が掲載されており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「学研」が全般的に優れていると判断し、選定した。</p>
<p>会 長</p>	<p>それではここで、説明があった4種目の選定状況について実際に教科書の見本を見ながら各学校の教育目標等を踏まえ、最も適した教科書が選定されているかについて、意見交流をしていただく時間を取る。</p> <p>(委員による教科書閲覧、意見交流後)それでは、資料5の説明の続きをお願いします。</p>
<p>各教科 担当者</p>	<p>「技術・家庭（技術分野）」について説明する。</p> <p>技術・家庭（技術分野）は、三校とも「東書」を選定している。</p> <p>三校共通である観点1～5においては、視点⑨を御覧いただきたい。学習指導要領において、技術分野では各内容の「思考力・判断力・表現力等」の指導事項に、問題解決の方法等を構想して、設計等を具体化することが示されており、言葉や図表を用いて問題解決の方法を考えたり、まとめたりする学習の工夫について調査した。「東書」は、問題解決の各プロセスにおいて、「問題解決カード」を掲載し、生徒が自分の考えを整理し、よりよい発想を生み出せる工夫がされており、問題解決に主体的に取り組むことができるようになっており、その他の観点1～5についても、「東書」が、全般的に見て優れているという結果になった。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島中学校では、情報社会においても適正に活動する能力や態度を育成したいという理由から、「情報モラル」に関する内容の事例や資料の掲載について調査した。「東書」は、内容Dにおいて、具体的な事例とその解説を六つ掲載し、最適な利用方</p>

法について考えさせる工夫があり、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。広島叡智学園中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、デザインの革新が他者やその環境に及ぼす影響について学習することにより、異文化理解や他者理解を深めたいという理由から、デザインの革新が私たちの生活に及ぼす影響についての資料の掲載や問いの記述について調査した。「東書」は、「資料」として、「Society5.0を支える技術」が掲載され、AIとIoT、そしてビッグデータといった技術や情報が、私たちの生活に及ぼす影響について考えさせる工夫があり、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑫を御覧いただきたい。三次中学校では、我が国の伝統と文化を支えてきた技術をより深く学ばせることで、伝統を重んじるとともに、人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせることができると考え、「伝統と文化に関する内容の示し方及び具体例」について調査した。「東書」は、「熊本城天守閣の復旧に生かされる技術」を掲載し、伝統的な建築と最先端技術の融合について考えさせる工夫がある。また、復旧に携わった人々の思いを、コラム「技術の匠」で紹介し、キャリア形成の学習としても活用でき、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。

「技術・家庭（家庭分野）」について説明する。

技術・家庭（家庭分野）は、三校とも「東書」を選定している。

三校共通である観点1～5においては、視点③を御覧いただきたい。学習指導要領の家庭分野では「生活に係る見方・考え方」を働かせ、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することが大切とされている。そこで「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させ、働かせるための工夫について、ガイダンス及び各項目における「生活の営みに係る見方・考え方」の示し方を調査した。「東書」は、「家庭分野のガイダンス」で「生活の営みに係る見方・考え方」をマークやイラストを用いて解説することに加え、各編の導入でも関連する見方・考え方をマークやキーワードで示すとともに、キャラクターの吹き出しで、見方・考え方を意識し、働かせるための支援となっており、その他の観点1～5についても、「東書」が、全般的に見て優れているという結果になった。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では、視点⑪を御覧いただきたい。広島中学校では、意思決定のプロセスの学習を通じて生活に必要な判断力を育むことを目指し、「C消費生活・環境」における意思決定のプロセスの示し方及び他の内容での活用事例について調査した。「東書」は、意思決定のプロセスについて、適切な商品の選択と購入の仕方として目的・課題、情報の収集・方法の検討、決定、実行、評価・改善の流れを示している。また、実生活での活用に繋げるため「活動」を設定し、自分や家族が欲しい商品のシミュレーションを行う活動を示しており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。広島叡智学園中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。生徒の生活経験や関心に応じて、本文を補足・応用する資料を活用し、知識・技能の深い理解を促したいという理由から、学習内容に関する「資料」の数について調査した。「東書」は、豊富な「資料」を掲載しており、新学習指導要領から扱うこととなった蒸す調理について、本文の補足・発展資料として「資料 蒸し調理の方法」を示し、蒸し器の使い方や安全面の留意事項、代替方法、調理実践へのリンクを示しており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。各項目の学習の振り返りで、学習したことと実生活とを関連付けて考えさせることを通して、創造力や逞しさを育みたいという理由から、各編の終わりの

学習のまとめの記載や、項目の終わりの学習を生活につなげる活動の示し方について調査した。「東書」は、項目の終わりに「まとめよう」や「生活に生かそう」を設定し、「よりよい食生活のために、自分たちが実践できることを考え、発表しましょう。」のように学習内容を生活で生かすための活動を示しており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「東書」が全般的に優れていると判断し、選定した。

「英語」について説明する。

英語は、三校とも「光村」を選定している。

三校共通である観点1～5においては、視点④を御覧いただきたい。学習指導要領において、単元など内容や時間のまとまりの中で、学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりして、自身の学びや変容を自覚できる場面を設定することが重視されている。そこで、視点を「単元等における振り返りの充実」と設定し、振り返りの設定について調査した。「光村」は、全ての単元の導入において目指す姿が具体的に示され、そのねらいに対応した振り返りが設定されている。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島中学校では、英語の学習を通して、人々の生活や風俗習慣の相違に一層の関心をもたせ、文化の多様性に注目させたいという理由から、生徒の発達の段階や興味・関心に即した題材の工夫について調査した。「光村」は、3年間ひと続きのストーリーから成り立った構成で、出身国の異なる様々な登場人物が言葉や文化の違いに戸惑いながらも、いろいろな体験や交流を通して共に成長していく、共感しやすい内容となっており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「光村」が全般的に優れていると判断し、選定した。広島叡智学園中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では、平和に関する単元において、本校の教育活動と題材を関連付けることにより、社会の持続的な平和と発展を希求する態度を育成させたいと考え、社会の持続的な平和と発展を希求する態度の育成につながる題材について調査した。「光村」は、平和記念公園でピースボランティアから話を聞き、登場人物が自分の言葉で原爆について若い人に伝えていき、よりよい社会の実現につなげていくという内容が掲載されており、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「光村」が全般的に優れていると判断し、選定した。三次中学校では、視点⑫を御覧いただきたい。三次中学校では、伝統文化及び人類の発展に貢献した取組等に関する題材に触れることにより、伝統文化を重んじ、且つ人類の発展に貢献しようとする高い志をもたせたいと考えていることから、伝統文化や人類の発展に貢献した取組等に関する題材の扱いについて調査した。「光村」は、伝統文化や人類の発展に貢献した取組等に関する題材のみならず、複数の題材で、自分が社会や未来のために何ができるのかを考えさせるような、生徒自身に高い志をもたせる工夫があり、観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果、「光村」が全般的に優れていると判断し、選定した。

「特別の教科 道徳」について説明する。

特別の教科 道徳は、三校とも「学研」を選定している。

三校共通である観点1～5においては、視点①を御覧いただきたい。他の教科等と同様、道徳科でも、生徒が学習の見通しを立てることのできる活動を取り入れることが重要であるため、オリエンテーションの示し方について調査した。「学研」は、巻頭に「考えを深める四つのステップ」を設定し、具体的な活動のポイント等を、イラストと共に吹き出しを使って具体的に示すと共に、教材の後ろに、「深めよう」として、四つのステップに対応した発問を掲載する工夫がされている。次に、学校ごとの観点6の調査結果を説明する。広島中学校では、視点⑩を御覧いただきたい。広島中学校では、科

	<p>学的・論理的な思考力，的確な判断力の育成を目指しているため，様々な道徳的価値に係る葛藤や対立のある事象を扱うものが多い，情報モラル及び現代的な課題，その中でも生命倫理の問題を扱う，生命の尊重に関する教材等について調査した。「学研」は，SNSを扱った「うわさで決めるの？」，生命の不思議さを扱った「クローズアップ」などの，情報モラル，生命の尊重に関する教材や資料等を各学年に複数掲載しており，観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果，「学研」が全般的に優れていると判断し，選定した。広島叡智学園中学校では，視点⑫を御覧いただきたい。広島叡智学園中学校では，他者の考え方に触れ，自律的に思考する中で，異なる文化や価値観を理解する態度の育成を目指しているため，日本の伝統・文化や国際理解及び国際社会に関する教材等の具体例について調査した。「学研」は，日本文化の継承を扱った「金閣再建 黄金天井に挑む」，国際貢献を扱った「危険地帯から実りの土地へ」などの教材に加え，日本の伝統・文化や国際理解，国際貢献に関する資料等を全学年に掲載しており，観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果，「学研」が全般的に優れていると判断し，選定した。三次中学校では，視点⑪を御覧いただきたい。三次中学校では，知性，探求心，創造性に溢れ，主体的に学ぶ人物の育成を目指しているため，人間としての生き方を深く考えることができるコラムや資料等の具体例について調査した。「学研」は，道徳教育の目標を達成するために指導すべき内容項目が四つの視点に整理されている中，その四つの視点の全てに関連するコラムや資料等を多く掲載しており，観点1～5の項目の調査結果と合わせて検討した結果，「学研」が全般的に優れていると判断し，選定した。</p>
会 長	<p>それではここで，説明があった4種目の選定状況について実際に教科書の見本を見ながら各学校の教育目標等を踏まえ，最も適した教科書が選定されているかについて，意見交流をしていただく時間を取る。その後，8種目の選定状況について，意見交流で出た御意見等をまとめて，グループごとに御紹介いただく。</p> <p>(委員による教科書閲覧，意見交流後) グループで出た御意見，御質問を順番に御紹介ください。</p>
委 員	美術で教科横断的な視点が示されたが，大事な視点であるという話が出た。
委 員	別冊のある教科があるが，どのように活用されているのか。
道徳科 担当者	道徳に別冊がある発行者がある。別冊も教科書と同じなので，各教科の目標を達成するための主たる教材として活用することとなる。具体的な使い方は，学校や授業者の創意工夫によるところとなる。
委 員	短い中での審議なので，適切な教科書を選定しているか十分に見ることができていないところがあるが，観点・視点を見ると，三校とも国際的な視点があり，グローバル社会への対応を見据えていると感じた。情報モラルやリテラシーに関することも盛り込まれており，その視点でしっかり選定しているので，良いと思っている。
委 員	これからの世界に関するA Iや情報リテラシーを調査し，一方でこれまでの伝統文化を大切にするという内容も調査しており，良いことだと思った。
委 員	英語について，「光村」の教科書が高く評価されており，内容を吟味すると，生徒による活用や即興の場面，実際の生活に根付いたような状況が教科

<p>会 長</p>	<p>書に展開されており、県立中学校の英語教育への意気込みが伝わった。今後、成果をしっかりと県内に発信してほしい。</p>
<p>特別支援教育課担当者</p>	<p>それでは、資料6 令和3年度県立特別支援学校の中学部で使用する教科用図書の選定状況について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>資料6を用いて、令和3年度に県立特別支援学校の中学部で令和3年度に使用する教科用図書の選定状況について説明する。</p> <p>今年度は、特別支援学校中学部で使用する中学校用教科用図書、及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書、いわゆる絵本等の「一般図書」を採択する。</p> <p>資料6の1ページを説明する。</p> <p>まず、県立特別支援学校の教科書採択のスケジュールについて説明する。</p> <p>本日、第3回選定審議会でお諮りし、その後教育委員会会議で指揮を受けた後、8月31日までに採択手続きを行う。</p> <p>2ページを説明する。</p> <p>「令和2年度県立特別支援学校における教科書選定会議の状況」について示している。各校を平均すると2.3回開催されている。</p> <p>続いて、特別支援学校中学部で使用する「中学校用教科用図書」の選定状況について説明する。</p> <p>3ページを説明する。</p> <p>特別支援学校で使用する中学校用教科用図書の調査研究について、教科書選定に当たり、各校ではこの調査研究の観点に基づき、選定資料や教科書見本等を参考に、調査研究を行った。</p> <p>4ページを説明する。</p> <p>「令和3年度に県立特別支援学校の中学部で使用する教科用図書の選定状況について」について示している。</p> <p>表は、横に障害種別の校名、縦に検定済教科書、著作教科書、絵本等の一般図書等、使用する教科書の種類を示している。</p> <p>視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱の特別支援学校は、中学校の教育課程に準ずる教育を行っており、基本的には検定済教科書を使用する。障害種別ごとに詳細を説明するが、時間の都合上、特徴的な例を挙げて説明する。</p> <p>6ページを説明する。</p> <p>視覚障害特別支援学校である広島中央特別支援学校についてである。</p> <p>視覚障害特別支援学校では、点字教科書を使用する生徒、拡大教科書を使用する生徒及び通常の教科書を工夫して使用する生徒が在籍するため、点字教科書が発行される教科については原則、点字教科書の原典となる発行者を選定する。</p> <p>原典となる発行者は、写真や図が多すぎず構成がシンプルであることなど、点訳のしやすさや、弱視生徒が使用することを考慮して、文部科学省が決定する。先日、国語は「光村」、地歴公民は「教出」、数学は「数研」、理科は「東書」、英語は「東書」、道徳は「教出」に決定した旨の通知があり、広島中央特別支援学校では、それらの発行者の教科書を選定している。音楽、保健体育、技術・家庭については、点字出版社が一般図書として点字教科書を作成する。原典となる発行者について、7月28日付けで通知され、本日付けで学校に通知したところであるので、現時点では「未定」としている。書写、地図、美術については、点字教科書が作成されないため、各発行者の教科書を視覚障害の観点で調査研究し、選定している。</p> <p>美術では「日文」を選定している。</p>

	<p>選定理由は、手で触って作品を鑑賞する美術館の事例や、目隠しをして制作した作家の事例などを掲載しており、全盲生徒が触察によって取り組みやすい学習内容が多く取り上げられていること、等である。書写、地図についても、文字が大きい、色がはっきりしている、ページ構成がシンプルであることなど、視覚障害のある生徒が扱いやすい工夫をした発行者を選定している。</p> <p>次は、聴覚障害特別支援学校である広島南、尾道、呉南特別支援学校についてである。3校は合同で調査研究を行い、聴覚障害に適した教科書を選定している。広島南特別支援学校を例に説明する。数学では「東書」を選定している。</p> <p>選定理由は、数学的活動が枠囲みやナンバリングで提示され、図やイラストを多く用いているため、聴覚に障害のある生徒にとって学習の見通しがもちやすく、思考の整理がしやすいこと等である。</p> <p>その他の種目においても、視覚情報が豊富であることや、学習課題が端的に示されていることなど、聴覚障害のある生徒が学習を進めやすい工夫がある発行者を選定している。</p> <p>次は、肢体不自由特別支援学校である広島、福山、西条特別支援学校の選定状況である。これら3校も、肢体不自由の観点から合同で調査研究を行い、共通の教科書を選定している。西条特別支援学校を例に説明する。地図については「東書」を選定している。</p> <p>選定理由は、大きさがAB判で肢体不自由のある生徒にとって扱いやすいことや、上肢や下肢の複雑な動きを必要とする内容の該当がないこと等である。</p> <p>次は、病弱特別支援学校である広島西特別支援学校の選定状況である。数学の教科書として「啓林館」を選定している。</p> <p>選定理由は、必修部分と選択部分が明確に区別されており、既習事項との関連を意識した丁寧な導入やスモールステップで展開されていることから、体調や治療で時間的に制約のある病弱の生徒にとって、学習が進めやすいこと、文字の大きさや字間・行間、文章・図版のレイアウト等についても、読みやすい、見やすいものとなるように工夫されていること、等である。</p>
会 長	<p>続いて、資料7 令和3年度知的障害のある児童又は生徒の教育課程を編成している特別支援学校の小学部及び中学部で使用する文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書及び一般図書の選定状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
特別支援教育課担当者	<p>資料7を使って、令和3年度知的障害のある児童又は生徒の教育課程を編成している特別支援学校の小学部及び中学部で使用する文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書及び一般図書の選定状況について説明する。</p> <p>資料7の1ページを説明する。</p> <p>学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書、これを一般図書とよんでおり、この一般図書の使用について説明する。</p> <p>中ほどの表は、知的障害特別支援学校の小学部、中学部の各教科を示している。</p> <p>この表に示している各教科は、特別支援学校学習指導要領に示されている知的障害特別支援学校における各教科を指しており、小・中学校の学習指導</p>

要領の各教科とは指導目標及び指導内容が異なる。小・中学部では、国語、算数、数学、音楽については知的障害者用の著作教科書がある。

その下の段の教科については、著作教科書が発行されていない。そのため市販の絵本等の一般図書を教科用図書として使用することができる。また、障害の状態が重い児童生徒で、上段の著作教科書を使用することが適当でない場合にも、一般図書を使用することができる。

2 ページは一般図書の調査研究について、教科書選定の観点及び調査研究の視点を示したものである。

絵本等の一般図書は、各教科の目標を達成するための主たる教材として作成されたものではない。また、県立の特別支援学校は、知的障害特別支援学校の他に、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱の特別支援学校があるが、そこには、知的障害を併せ有する児童生徒も在籍している。

そのため、ここに示す教科書選定の観点・視点で、一般図書の調査研究を行い、児童生徒の障害の種類、程度、能力・特性及び発達段階に最もふさわしい内容の教科用図書を選定する必要がある。

続いて、各校の選定状況について説明する。

3 ページに、「令和3年度知的障害のある児童又は生徒の教育課程を編成している特別支援学校の小学部及び中学部で使用する文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書及び一般図書の選定状況」を示している。

左側に特別支援学校を障害種別ごとに掲載している。

文部科学省著作特別支援学校知的障害者用教科用図書については、表の○印で示しているとおおり、障害の状態が重い児童生徒が在籍している西条特別支援学校八本松分級を除き、すべての特別支援学校の小学部、中学部において選定している。

一般図書については、一般図書一覧に掲載している図書と、一般図書一覧掲載以外の図書の点数を分けて示している。一般図書一覧に掲載されている図書は、昨年度全国で採択された一般図書のうち、比較的採択数が多く、かつ発行者が来年度においても引き続き当該図書の発行・供給を予定しているものを収録したものである。

選定状況を見ると、小学部では259点の一般図書を選定しているが、そのうち「一般図書一覧」掲載図書は203点となっている。

中学部では、232点の一般図書を選定しており、そのうち「一般図書一覧」掲載図書は173点となっている。

続いて、資料19ページから、各特別支援学校から提出のあった教科用図書選定理由書抜粋を用いて、小学部の生活科を例に、具体的に説明する。

絵本等の一般図書は、各教科の指導を目的としてつくられているわけではないため、一般図書を選定する際には、表の真ん中の列、学習指導要領段階等の欄に、当該図書が学習指導要領の内容のどこに該当する図書なのかが分かるように、内容項目の番号を示している。

知的障害特別支援学校の例として、呉特別支援学校小学部単一障害 第5学年の選定理由書抜粋を示している。

生活科の図書として、偕成社の「こどものマナー図鑑1 ふだんの生活のマナー」という一般図書を選定しており、対応する学習指導要領の段階等については、小学部生活科3段階、内容は「オ 人との関わり」「ケ きまり」となる。選定理由として、「日常の生活に関する基本的なマナーが取り上げられていること、テーマ別に具体的な場面がイラストや簡潔な文章で示されているため、イメージしやすい」としている。

20ページに視覚障害特別支援学校である広島中央特別支援学校の視覚障害



	<p>と知的障害を併せ有する児童が在籍する小学部重複障害の教育課程，第2学年の選定理由書抜粋を示している。表の一番上，生活科の教科書として，偕成社の「エリック・カールの絵本 はらぺこあおむし」を選定しており，対応する学習指導要領の段階等については，小学部生活科1段階，内容は「サ 生命・自然」となる。選定理由として，「リズムカルな表現で，児童の興味を引き付け，卵から青虫，さなぎを経て美しい蝶が誕生するまでの身近な自然の事象を楽しんで学習することができる。数や曜日，食べ物などを穴のあいたページに触れて手で確かめながら読み進むことができる。」としている。視覚障害と知的障害を併せ有する児童が，触覚なども活用しながら楽しんで学習できると考えている。</p> <p>22ページに肢体不自由特別支援学校である西条特別支援学校の，小学部第4学年の選定理由書抜粋を示している。表の上から2番目，あかね書房の「かばくん・くらのえほん1 かばくんのいちにち」を選定している。学習指導要領段階等については，小学部の生活科2段階，該当する内容項目として「ア 基本的な生活習慣」「イ 安全」「ウ 日課・予定」としている。選定理由として「主人公のかばくんの行動を通して，着替えや食事など，一日の生活の様子や物の名称などが取り上げられており，児童が基本的な生活習慣を身に付けることができる。厚手上質紙で製本されていて丈夫であり，肢体不自由のある児童が扱いやすい。」としている。</p> <p>23ページに病弱特別支援学校である広島西特別支援学校小学部第3学年の選定理由書抜粋を示している。生活科の教科書として，ひかりのくにの「こどものずかんMio1 2 きせつとしぜん」を選定している。対応する学習指導要領段階等については，小学部生活科2段階，内容は「サ 生命・自然」である。選定理由として「春夏秋冬の自然の変化の様子が写真とイラストで詳しくわかりやすく解説されており，入院生活のため実際に季節を感じる機会が少ない児童が，写真やイラストを通して四季を感じ，自然や生き物に興味・関心を深めることができる」としている。</p>
会 長	<p>それでは，ただ今の説明について，10分ほどグループで意見交換を行っていただきたい。（委員による教科書閲覧，意見交流後）グループで出た御意見，御質問を順番に紹介していただきたい。</p>
委 員	<p>いろいろな児童生徒の実態に応じて，適切な教科書を採択しようとしていることが，資料から感じられた。</p>
委 員	<p>資料がよくまとまっており，教科書も適切に選ばれている。説明からも，障害のある子供に配慮がされていること，授業する先生が工夫しながら授業を進めているであろうことが予想できる。一般図書についても，状況を踏まえて選ばれていることが分かった。</p>
委 員	<p>いろいろな児童生徒がいる中で，日々，先生が「教科書を教える」ではなく，「教科書で教える」という視点で工夫しながら指導している，ということや，そのために必要な教材としてどの教科書が良いのかを考えていくことの大切さを感じた。</p>
委 員	<p>児童生徒の障害の状況に応じて，適切な教科書が選定されている，という感想である。</p>

会 長	<p>その他，御意見・御質問等はないか。 本会の議事全般に関わってでも構わない。</p>
委 員	<p>(なし。)</p>
会 長	<p>それでは，事務局から説明があった，各校の選定状況について，適切に処理されていると御了解いただいたものとする。</p> <p>以上で議事を終了する。これより，進行を事務局にお返りする。</p>